

1. 件名：「敦賀発電所2号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(41)」

2. 日時：令和5年12月1日（金）16時00分～17時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

野田安全管理調査官、海田主任安全審査官、宮脇安全審査専門職、
大井安全審査専門職、岩崎安全審査官

日本原子力発電株式会社 開発計画室：堀江常務執行役員 他8名

同 開発計画室： 1名※

同 発電管理室： 1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

・音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

・発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造 敷地内のD-1トレンチ内に認められるK断層の活動性（コメント回答）

・敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造 敷地内のD-1トレンチ内に認められるK断層の活動性 補足説明資料3 データ集

7. 確認・伝達事項：

原子力規制庁から、日本原子力発電（株）に対し、以下の事実確認及び伝達をした。

・ コメント回答の説明と本編中の資料が整合していないことを伝達した。

・ 回答骨子の「次々回以降の審査会合で説明（現地調査で説明予定）」の項

- 目は、現地調査までには説明資料が用意されるとの趣旨でよいか確認した。
- ・ 事業者は③層の OSL 年代測定結果について、「 $133 \pm 9\text{ka}$ より古い」ではなく、誤差は考慮せず「13.3 万年より古い」と評価するとの回答であることを確認した。
 - ・ 北西法面における K 断層の変位量の算出方法の考え方を追記した趣旨を確認した。
 - ・ ③層中の普通角閃石が、③層中のどこで採取された試料であるかを確認した。
 - ・ 図中の「原電道路ピット③上-T5」について、どこで採取された試料であるかを確認した。
 - ・ コメント 1202-9 について、11 月 27 日(月)に提出した資料から、回答時期を変更したことを確認した。
 - ・ 7 個の試料と記載されているが、グラフの赤い線は 6 個しかない理由を確認した。

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	原子力規制庁の岩崎です。それではですね本日も、敦賀 2 号炉の
0:00:09	K断層の活動性についてヒアリングを開始したいと思いますので、早速
	ですけれども、事業者の方から説明の方よろしくお願ひします。
0:00:23	はい。日本原子力発電小野瀬でございます。
0:00:26	それではですね
0:00:28	資料の説明をさせていただきます。
0:00:32	まず、
0:00:34	敷地の地形地質構造、敷地内のデイワントレンチ内に認められるK断
	層の活動性、括弧コメント回答と、
0:00:42	この資料を用いて、説明させていただきます。
0:00:47	めくっていただきまして、
0:00:50	3 ページからですね、
0:00:52	前回 11 月 10 日の審査会合、
0:00:56	におけるコメントリストということで、こちらのナンバーの、
0:01:00	2002 の 1 っていうところから、
0:01:04	7 ページまでありまして、全部で 32 ですね。
0:01:10	1202-32 と。
0:01:13	いうリストをつけてございます。
0:01:15	この中で今回と回答させていただくのが
0:01:19	4 ページ目の 7、8 というOSLの話と、
0:01:25	6 ページ。
0:01:28	23
0:01:31	の、③層のテフラの話と、
0:01:34	24 番ですね。
0:01:37	鉛直変位量の
0:01:39	ね。
0:01:40	7 ページの 32 番のところですねふげん道路。
0:01:44	等で確認されたK断層。
0:01:47	のところを、説明させていただきます。
0:01:51	これ、
0:01:52	この資料は基本的に 1022 回の審査会合の資料 1-1 を
0:01:59	使ってまして、変わってないところには右肩に、
0:02:03	再掲というふうに書かせていただいております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:07	変えたところは修正としてるところは時発注をつけておりまして、右肩に何も無いものは
0:02:16	新たに追加したページと、
0:02:19	いうふうにさせていただいております。
0:02:23	藤。
0:02:24	それではですね。
0:02:26	ちょっと順バーン取りじゃないんですけど、まず6ページの23番の、
0:02:32	③層、Tephra
0:02:35	の回答をしたいと思います。で、
0:02:38	ちょっと6ページのリストのところですねちょっと空欄になってございましてこの会議の時にはちょっとここにはちゃんと、
0:02:46	書いて欲しい、記載したいと思います
0:02:49	藤。
0:02:52	これは、後ろの方ですね。
0:02:55	20、
0:02:58	3-1ということで、
0:03:08	3-1ページという番号振ってございますの後ですね。
0:03:13	当審査会後におけるコメントの回答と、
0:03:16	いうことで、
0:03:17	このコメントはですね丸さん。
0:03:19	当初申請書に記載していた③層で、
0:03:22	実施したテフラ分析、
0:03:25	結果を補正申請で削除した理由について説明することと。
0:03:30	いうことです
0:03:32	まずこの3-2ページのしろうに4ページつけてございますがこれが
0:03:38	当初申請書に記載していた、
0:03:41	都丸山荘の分析結果、
0:03:44	これをつけてございます。
0:03:46	りゅう削除した理由としましては下ですね。
0:03:49	補正申請。
0:03:52	においてはデイワントレンチほ
0:03:55	北西法面で実施したOSLの年代分析結果、
0:03:59	これが年代既知のテフラ分析、DKPですとか、K-Tz
0:04:04	こういったものと整合的だったことから、
0:04:07	③層の堆積年代の説明と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:10	そしてOSL年代分析結果に重きを置いて、
0:04:14	おいたために、
0:04:16	③層で実施したテフラ分析、
0:04:18	結果を削除します
0:04:22	ただ
0:04:22	しかしながらですね3層で実施したこのテフラ分析結果、
0:04:27	これ③層の堆積時期を示すデータとしては、
0:04:32	有効というふうに考えてございまして
0:04:36	地層の堆積時期を示す花粉分析結果と同様の位置付けとしまして③ソ ウノ、
0:04:42	堆積年代を補足するデータとして、
0:04:45	使用したいというふうに考えてござい。
0:04:50	と、
0:04:51	3-3 ページからの6 ページまでは
0:04:54	もともと当初申請書に記載してございました
0:04:58	テフラ分析結果をつけてござい
0:05:02	そう。
0:05:05	続きまして、
0:05:08	また、
0:05:09	6 ページに戻っていただきますとコメントリストの次は24番、
0:05:14	ですね。
0:05:18	鉛直変位量の
0:05:19	ところ、
0:05:20	の回答コメント回答になっ
0:05:22	ています。
0:05:24	まず回答骨子としてはですね一番最初鉛直変位量というのはどうい うふうに求めているかというのを記載してございます。
0:05:35	変位変形を受けたと判断した範囲を挟んだ宇和盤と下盤の同一基準の 比高差を求めてます
0:05:43	2 段落目、これは原電道路ピットのゾツ黒等では、上記の考え方に基づ いて、変位基準を用いており
0:05:55	タダノ原電道路ピット。
0:05:58	においては、2 条に分かれてございまして、その変位量を出して、
0:06:04	K断層全体の変位量と、
0:06:07	してます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:08	事で、
0:06:09	まず 2-54 ページ。
0:06:12	ですね。
0:06:15	藤。
0:06:16	2-54 ページの、
0:06:19	上の箱書き。
0:06:21	2 ポツ目。
0:06:23	こちらの、
0:06:25	変位、
0:06:27	鉛直変位量の
0:06:30	ところを書いてございましたがちょっときいハッチの部分を追記して修正してございまして、
0:06:40	鉛直変位量については、同一の地層境界等変位基準として断層による変位や変形を受けたと判断した範囲を、
0:06:49	三田は伴下盤のドイツ日
0:06:52	ドイツ、
0:06:53	層準の比高差として求めています。
0:06:57	これ全体にかかるところのためには北西法面のところに記載してござ
0:07:02	で、もともとのコメントですね
0:07:11	合算してるところの説明。
0:07:14	が明確に書いてない。
0:07:17	よというコメントがございまして 2-82 ページをお願いします。
0:07:26	2 の 82 ページの下の図で言いますと三つ。
0:07:31	3 段に分かれているところの一番上の段に、
0:07:35	なります原電道路ピット東向法面の
0:07:39	0.2 が二つ書いてございましてがこの部分、
0:07:42	なっております、
0:07:44	この、
0:07:46	赤い線がK断層になってございましてこの原電道路ピット底盤。
0:07:51	西側部から連続して、逆断層センスを持つことからこの二つをK断層と評価してございましてこの二条のせん断面について、
0:08:01	それぞれのせん断面における変位量、
0:08:04	これは同一
0:08:06	層準の変位基準、スケッチで言いますと、
0:08:10	左側の青い線で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:13	測ってございまして、右側が緑の線。
0:08:17	これを使って求めてございましてそれらを合算したものをK断層全体の変位量としたということ、
0:08:25	追記させていただきました
0:08:29	これが
0:08:31	コメントの 24 番の回答になり、
0:08:34	ね。
0:08:36	藤。
0:08:37	続きまして
0:08:39	7 ページの
0:08:41	コメントリストの 32 番になりますが、
0:08:45	こちらのふげん道路ピットで確認されたK断層の評価した根拠について説明すること。
0:08:52	ということで、
0:08:56	こちら場所ですね、2-80 ページをお願いします
0:09:11	2-80 ページの江藤こちら
0:09:15	スケッチが幾つか分かれてございまして、一番下のところです。スケッチになりますふげん道路ピットヒガシ法面括弧上段と、
0:09:26	いったところの、この二つ分かれてます左側ですかね
0:09:31	赤い線が
0:09:34	K断層としてございましてこれをなぜK断層としたかと。
0:09:37	ということで、
0:09:38	箱書きに空きハッチの部分を追記してございます。
0:09:42	とふげん道路ピット東法面で確認された断層について、この戸田層の特徴である逆断層センスが認められています
0:09:53	あと原電道路ピット東向法面に連続するK断層のうち、て3層に、
0:09:58	傾斜不整合で追われる系断層の、
0:10:01	延長上に位置している。
0:10:04	ということと走向傾斜、あとD3 層との関係も調和的であると。
0:10:10	この以上のことからふげん道路ピットヒガシ法面上段で確認された。
0:10:16	計山断層はK断層であると評価しましたと。
0:10:20	ということになってございます。
0:10:28	続いてOSLについては少し、
0:10:31	説明者を交代します。
0:10:37	日本原電の五十嵐です。OSL年代測定について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:42	コメント回答の方を説明します。
0:10:44	本編資料の 2-42 ページをお願いします
0:10:59	衛藤。
0:11:00	このページにいただいた。
0:11:02	介護でいただいたコメント二つ、上に示してまして、
0:11:05	一つ目が、OSL信号の方を踏まえた年代測定の信頼性。
0:11:09	年代測定の根拠妥当性を説明すること。
0:11:13	二つ目に、
0:11:14	OSL年代測定結果の方年代の取り扱いについて説明することと。
0:11:19	ことで、回答要旨として、下の箱に三つ。
0:11:23	記載してございます。
0:11:25	四つ目がまず放置についてですね。
0:11:27	測定結果られる成長曲線に、
0:11:31	今回敦賀では、ポイントランドマリー2006 文献の飽和値を適用しまして、
0:11:37	天然試料の実OS、OSL強度がそのホアシを超えてる場合には、
0:11:42	方法として扱ってございます。
0:11:45	二つ目に、その測定結果の信頼性について、
0:11:49	測定結果からえられる成長曲線は、
0:11:52	同様文献ヘイントラ止まり 2006、
0:11:55	に記載されております除外基準に基づき、
0:11:58	データの信頼性を判断しております。
0:12:01	条例基準に当てはまるデータを除外して信頼できるデータを用いて年代を求めております。
0:12:07	また、各資料の成長曲線のデータを
0:12:11	別冊の
0:12:12	補足説明資料 3 のデータ集に、今回お示してございます。
0:12:17	保護してる際の誤差の扱いにつきましては、
0:12:21	実際に、
0:12:22	最初した資料からは、便トランドまり 2006 の飽和値より古いデータがえられているところが事実でございます。
0:12:30	降圧したものより古いとしか評価できております。評価はできません。また、
0:12:36	今回の測定における誤差の要因についても、
0:12:39	後段の方で説明する資料を追加してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:44	さらに、
0:12:46	他の文献ですね。
0:12:47	セール案へ通る。
0:12:49	2011 及び、丸井衛藤 2014 では、
0:12:52	飽和してる資料につきましては、誤差をつけずに、
0:12:56	00 年、
0:12:58	前、
0:12:59	と預かってございます。
0:13:02	以上のことから、元のピット東向法面③装置のD3 層から採取した資料についても、
0:13:08	今回飽和してることから年代値の評価としては、13.3 万年前より古いという評価で、
0:13:15	あります。
0:13:16	具体的に、
0:13:18	次のページの資料を用いてちょっとご説明します。
0:13:22	2-43 ページをお願いします。
0:13:27	こちら模式的な方は、成長曲線を示しております、
0:13:36	1 ポツ目ですね天然シノ実OS、OSL信号強度はWinとランドマーク 2006 の方が値を超える場合がございます。
0:13:44	実際に、下の絵は、
0:13:46	大町を越えている様子を示しております、
0:13:49	縦軸に四角とエラーバーについておりますところが、天然飼料の実大江 OSL強度。
0:13:55	ここで赤線が高成長曲線向かって引かれております。
0:14:00	イントランドまりの飽和値を超えるというのが、グラフ上で、日本
0:14:05	薄い青で点線ございますけども1 の、
0:14:07	点線が、
0:14:09	文献に示されている方あっちと。
0:14:11	これを、実OSL信号強度が、その上にいる場合には飽和として扱ってございます。
0:14:21	このような場合は明らかにホウジョウでも古い年代値が、
0:14:24	実用で求めますので、
0:14:28	求めます。
0:14:30	まだ年代値は、この
0:14:32	グラフからでなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:34	このグラフ赤線で示した、
0:14:37	下の吸収線量ですね、等価線量というものを年間線量率で割って年代値を求めております。
0:14:45	バツとしているこの1の青い点線のところ、
0:14:50	と。
0:14:52	成長曲線が交差する点のところ、2D0と記載しておりますけども、このD0といえますのは、
0:15:00	箱書きの3ポツ目ですねこの成長曲線。
0:15:04	を近似した式がございましてその近似式の係数から、
0:15:08	求まります。
0:15:09	それが求まるケースがD0でございまして、
0:15:13	イントラの2006では、このD0を2倍した数値のところを、飽和値として扱っているというものになります。
0:15:23	そしてこのホアシを超える場合には、法案年代より古いと考える。
0:15:27	ということになります。
0:15:30	実際にそのように飽和値を超える場合には、
0:15:32	政令Tallや真理恵達においては、
0:15:35	その年法年代よりも古いと。
0:15:37	いうことで誤差をつけずに、
0:15:40	古いという評価しかできませんという扱いをしております。
0:15:44	次のページ、2-44ページをお願いします。
0:15:50	こちら実際に、鶴場で、
0:15:52	最終、今回、日に、
0:15:55	データを示し、お示しました四つの資料の成長曲線の例を
0:16:01	このページにお示しております。
0:16:05	年代値とオオバ値は、
0:16:08	イントラドマーク2006の除外基準に該当しない。
0:16:11	資料で計算しております信頼性を確認しております。
0:16:15	この除外基準につきましてはページの下の方に、二つ。
0:16:20	記載しております。
0:16:24	一つ目が、吸収線量が0GyのOSL進行強度が、
0:16:29	実OSL信号機の5%を超える場合は、
0:16:33	測定後に信号は回復してしまっていると考えられるので、棄却すると。
0:16:38	二つ目が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:39	同じ吸収線量で実施した 2 回の信号強度が、お互いが 10%±10%を超える場合は、
0:16:46	最近そうなる測定ができてないと考えられるので企画すると。
0:16:50	いうものが、除外基準としてございます。
0:16:58	こちらの成長曲線の他のデータにつきましては、別冊子の
0:17:04	補足説明資料 3 のデータ集の後ろの方に、
0:17:08	掲載してございます
0:17:13	本ページを戻りまして、2-45 ページをお願いします。
0:17:19	こちらは、OSL 信号。
0:17:22	強度の誤差に関するご説明です。
0:17:28	ページに、大きく示していますグラフは、
0:17:31	天然試料の実を OSL 信号の測定の例として、
0:17:37	グラフを示してございます。
0:17:41	グラフに
0:17:42	青で示している、線のように OSL 信号は測定開始後、時間とともに、
0:17:48	非常に減少するものでございます。
0:17:51	年代測定に用いる OSL 信号の強度は、
0:17:55	早崎 2020 に基づきまして、加熱光照射開始後の 2 秒間の積算値と、
0:18:01	装置バックグラウンドの測定開始、180 秒後から 20-20、20 秒間の積算値を用いております
0:18:12	信号の。
0:18:14	継続。
0:18:15	は、0.1 秒ステップで計測してございます。
0:18:19	この OSL 信号強度とバックグラウンドにはこの測定において揺らぎがございましてこの揺らぎが、
0:18:25	誤差となって出て、
0:18:27	来るものでございます。
0:18:28	この揺らぎは、装置の
0:18:31	ウエキ高原や講師、
0:18:32	増倍管等の安定性に関係してまして、
0:18:35	分析においては、一般的に認められているものでございます
0:18:41	OSL 信号共同ワークの誤差も含めて求めてございます。
0:18:48	次のページ。
0:18:50	見開きで 2-46 と 47 ページをお願いします。
0:18:56	法案、年代の取り扱いにつきまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:59	参考としました。
0:19:01	セールTall2011 と。
0:19:04	2-47 ページに、丸井衛藤 2014 を、
0:19:08	記載してございます。
0:19:10	赤枠で囲っている部分が、文献のOSL年代測定において、飽和しているとした資料のところの、
0:19:19	年代の取り扱いでございまして、
0:19:21	同様に、飽和してる場合は、
0:19:24	誤差をつけずに、
0:19:26	統合で、
0:19:28	年代を扱っていると。
0:19:29	いうものになります。
0:19:38	説明は以上になります。
0:19:46	原子力規制庁の岩崎です。はい。ご説明ありがとうございました。
0:19:51	何点か確認事項を仕上げたいと思います。まず、
0:19:57	よろしいですか。
0:19:59	全体に関わるところで、
0:20:01	1 点、
0:20:03	例えばなんですけど、ちょっと今回時間が短かったのもあるかもしれないんですけどただその 2 の 42 ページあるじゃないですか。
0:20:13	これ
0:20:14	一番最後、
0:20:16	の年代値の評価としては 13.3 万年前古井ってなってるんですけど、
0:20:22	この前のページの年代評価だと、13. 133±休憩。
0:20:29	より古い、ここの辺で、
0:20:31	要するに、あんまり整合してないんですけどこれはだから、多分、
0:20:37	今回その限られた時間の中でこう、
0:20:42	なんていうか、直せるところを直したってそういう認識でいいですかね。
0:20:47	要するにのコメント回答の説明と、
0:20:49	本編中の資料との整合が、
0:20:53	はされてないところがあるんですけど、それはそういう認識でいいですかという確認。
0:21:03	日本泉五十嵐です。
0:21:04	と。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:05	2-42 ページ以降が今回コメント回答で追加したページなんですけども、2-4、2-1 ページ前の 2-41 ページこれあの、
0:21:15	分析して計算した結果として、
0:21:18	1 回をお示ししてるもので、
0:21:21	コメントの趣旨としてはこの法令の取り扱ってということで、実際飽和してる資料についての計算上も誤差が出てくるんですけど、
0:21:31	その
0:21:33	結果に対して年代の評価としてどういうふうに扱うのかっていうところに関しましては、
0:21:40	今回、回答した資料として 13.3 万古井。
0:21:47	計算結果としてアマノ 53 は、どうしても、
0:21:50	計算上もついてきてしまうんですけども、ただその資料も飽和してしまっていて、
0:21:55	コウアライを超えて、
0:21:57	いうので、扱いとしては、
0:22:00	13 万より古いと。
0:22:02	いうふうに、
0:22:03	年代を評価します。
0:22:06	なので、
0:22:07	計算結果のこの 13.8、133 プラスマイナス。
0:22:12	9 っていうのが間違いでは、
0:22:14	計算結果として間違いではない。
0:22:18	ので
0:22:19	前野氏、前のページを直していない
0:22:23	ものになり
0:22:24	規制庁イワサキでさ。
0:22:26	ありがとうございます。アノはこれちょっと、
0:22:30	別のあれとして質問しようと思ってるんですけど
0:22:35	ここに書いてある 13.3 万年前より古いついていうのは、資料としての
0:22:41	年代値の評価で、
0:22:44	③層の堆積年代の評価っていうのは、133±9kAより古いついていう評価自体は、
0:22:54	事業者の評価としては書いてないってそういう理解でいいですか。
0:23:07	余計な五十嵐で
0:23:09	等、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:10	大セキネの評価としては、13.3 万よりも古い。
0:23:14	誤差なしで 13 万よりももうそれより古いと。
0:23:19	分析変えられた数値とか線量とかで、また年代値として、計算結果としてはこの
0:23:25	プラスマイナス 9 という数字が出てきますけども、
0:23:29	時代の評価としては、
0:23:31	プラスマイナスをつけずに、
0:23:33	13.3 万よりも古い。
0:23:38	いう評価になる。
0:23:46	規制庁の野田ですけど、もうちょっとすいません、我々からの事実確認に端的に答えてもらって、
0:23:55	いいですか。
0:23:56	2-41 ページの、
0:23:59	上の箱書きの、
0:24:01	四つ目のポツの最後。
0:24:03	酸素の堆積年代は 130 数
0:24:07	3±休憩より古いことを示している。
0:24:12	これを、
0:24:13	今回の下面とかイトウを踏まえて、
0:24:17	変、変えるのか、変えないのか。
0:24:21	どっちか答えてくだ
0:24:23	変えるか変えないかもうそれだけでいいんで答えて、
0:24:32	今までの五十嵐です。本当、コメント回答踏まえまして、2-41 ページの、
0:24:39	を変えます。
0:24:41	変えます。
0:24:49	はい。変えるということが事実確認できました。私から以上です。
0:24:57	規制庁岩崎です。すいません。ありがとうございます
0:25:01	ごめん。それを変えらるということはわかりましたその上で
0:25:06	繰り返しになってくるんですけども、
0:25:08	今回のコメント回答と、本編中の資料では、整合とれてないですよ、変えたということでした。
0:25:19	衛藤そうですねちょっと資料から不整合があります。申し訳ございません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:24	規制庁岩崎ですそれはちょっと時間的に制約があったの件もあるので、あるんですけどもいずれ整合とっていただければと思いますので
0:25:35	今回はとりあえず事実確認としてコメント回答の説明とそのページの資料は整合とれてませんよということをお伝えさせていただきます。
0:25:45	はい。
0:25:49	規制庁の野田ですけど。
0:25:57	開始になるんですけど我々が事実確認していることに、
0:26:01	端的に。
0:26:04	安く回答してもらっていいで
0:26:10	すいません少なくとも先ほど、
0:26:13	イワサキが、
0:26:14	質問した。
0:26:16	ことに対する回答は、
0:26:18	すみません、
0:26:20	こちらが意図している回答と、
0:26:23	全く違いますし、
0:26:25	全然何が何言ってるかわかんないんで、
0:26:32	堀江さん。
0:26:33	齋藤さんいかがですか。
0:26:48	すいません日本銀行勝野堀井でございます。すいません回答の仕方が適切ではありませんでしたの。
0:26:55	お答えに的確に回答できるように注意したいと思いますすいません。
0:27:06	規制庁野田ですけど、ありがとうございます。
0:27:12	限られた時間で、
0:27:14	ヒアリングやってるんですよ。
0:27:23	そういうことを、
0:27:27	頭に入れて、
0:27:29	回答してもらっていいですか
0:27:32	いいですよ。今の我々が聞きたかった確認したかったのは二つ。一つは、これを、
0:27:38	この先ほど私が確認した通り、
0:27:41	年代評価を変えるのか、変えないの。
0:27:44	その 1、
0:27:45	2、
0:27:46	それは反映されてないけど、それは別に我々、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:49	その今回反映できていないことが駄目だと言ってるわけじゃなくて、それは時間的制約もあって、反映されていないけど、今後、
0:27:59	反映されるつもりですよ。
0:28:02	BSOアノ、
0:28:03	イエスなんですよ。
0:28:05	それだけです。
0:28:08	我々が確認したら二つ。
0:28:11	いいですか
0:28:12	それに的確に答えてもらっていいです。
0:28:26	さっき、規制庁イワサキはい。それでは、えっとですね、続いてなんですよ、
0:28:32	回答骨子ですね
0:28:35	を、
0:28:38	次回以降の
0:28:40	審査会合で説明予定の方で、括弧で現地調査で説明予定となっている項目なんですよけれども、こちらについてはですね現地調査までには説明資料が、
0:28:51	用意されるっていう認識で、
0:28:54	いて、
0:28:55	いいですかね。
0:28:58	松丸ところですね現地調査でその場でそのものだけ説明ではなくてちゃんと説明資料として、現地調査では用意されてるっていう、そういう認識でいてよろしいですか。
0:29:12	日本原子力発電野瀬でございます。
0:29:15	現地調査の資料はこの後の面談なのであれなんですけど資料として用意することを考えてございます
0:29:25	はい。
0:29:26	考えてございます
0:29:30	イシイ規制庁、岩崎です。はい、ありがとうございます。
0:29:33	続いてなんですけど
0:29:39	と。
0:29:42	2-54 ページなの、黄色ハッチングのところなんですよけれども、
0:29:50	ここ、
0:29:51	ちょっと、
0:29:52	全体に関わる場所なので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:55	この黄色ハッチを追記しましたと。
0:29:58	いうふうなことをおっしゃっていたと思うんですけども、これはあの、すいませんちょっと北西法面におけるそのK断層の、
0:30:04	この、ここをなぜこういうふうに変更したかっていうことは趣旨だけご確認させていただきたいんですけど。
0:30:12	前、
0:30:13	全体に関わることなので追記しましたが、ちょっとよくわからなくてですね、
0:30:18	日本原子力発電能勢でございます。
0:30:22	趣旨ですかね。
0:30:26	章ですね 2 ポツ 2 から、
0:30:29	説明する時にこれ北西法面から、
0:30:32	次行くとLカットピットってこう順番に
0:30:36	スケッチ、
0:30:37	法面をこう説明しているので、頭の
0:30:40	一番最初のところに
0:30:43	鉛直変位量の考え方っていうのを説明して、あとはその考え方で、その数値とかを出してますよっていうことを、
0:30:51	説明するために、一番最初の鉛直変位量が出てくるところに、
0:30:57	基本的な考え方を変えて、後はもうそれで数値を
0:31:00	とるから、もう 1 個 1 個にこの説明をつけない。
0:31:05	ことから、一番頭にここに付けましたっていうことをちょっと一旦、
0:31:09	言いました。
0:31:14	これでいうと
0:31:17	藤。
0:31:23	例えば 2-68 ページの、
0:31:28	いちいちピットのところにも鉛直変位量って、
0:31:31	書いてございますが、これを取ろうとしたときに、さっき言った同一
0:31:36	衛藤。
0:31:37	層準の基準面から
0:31:40	測定するってのはもう頭で、
0:31:42	言ったのであとはここで鉛直変位量というのは、1.1 メートルですよっていうなことだけを、
0:31:50	出ます。なので、
0:31:51	その一番最初に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:52	間考え方っていうかとり方ってこれですっていうのを、
0:31:56	等、
0:31:58	一番最初のすけスケッチというか、
0:32:01	法面のところで、
0:32:04	言ったということをちょっと伝えたかったんですけど。
0:32:10	すいません日本建築は前の堀江ですけども前回、
0:32:15	会合等でお示したときに、
0:32:17	同一の地層境界等変位基準として求めているとは簡単にというか、書いてあったんですけども、
0:32:23	ちょっとそこがわかりにくいのかなということで、ここになぜ書くかは今、野瀬の方からご説明させていただきましたけども、そこをちょっと具体的に、断層による変位とか変形を受けたと判断し範囲を、
0:32:36	三田上盤側と下盤側のドイツ標準の比高差ですよっていうことをちょっと明確に記載した方がいいかなということでここに記載させていただきましたという。
0:32:44	ご説明をさせていただきました。
0:32:49	以上です。
0:33:07	原子力規制庁のイワサキですはい。
0:33:12	ところ、
0:33:18	変位量の求め方は、ここに書いてある通り
0:33:24	医療変形量も含めてですかね
0:33:29	その変形を受けたと判断した範囲。
0:33:32	を挟んだ上と下の、
0:33:35	同じ。
0:33:36	層準の比高差を、
0:33:39	変位量として、
0:33:42	出しているっていうのを、
0:33:45	一番最初に変位量が出てくるここに記載しました。そういうことで、
0:33:53	あ、わかりました。はい。
0:33:56	と、
0:33:59	じゃあ、続いっていう。
0:34:05	さあ、
0:34:06	3-2のアサノ2のところからなんですけれども、
0:34:14	当初申請のそのテフラ分析結果の話のところなんですけど、
0:34:19	五味さん、3-4で3-4に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:23	普通角閃石とその海上ボーリングの
0:34:29	分析結果あるんですけど、ちょっとこれ当時申請見てもよくわからなかったんですけど丸さん、この、ここで、3-4 のところに示されている水色のこの③層中の普通角閃石っていうのは、
0:34:42	これちょっとどこで採取された資料かちょっと、
0:34:47	確認させていただいてもよろしいですか
0:34:53	日本原電牟田でございます。
0:34:55	資料の方で言いますとですね、2-17 ページ。
0:34:59	ご覧ください。
0:35:07	こちらの方で特性の裏面で、連続的にA測線B測線c測線C' 測線というものが、
0:35:15	ございますけども、そちらのうちですね、B測線、測線B、あと測線し、測線c' から、
0:35:26	区分ですね普通角閃石が検出されております。
0:35:32	そちらの
0:35:34	粒子をですね、主成分分析かけまして、ハーカー図の方にプロットしているものでございます。
0:35:43	以上です。
0:35:45	規制庁岩崎です。わかりました。
0:35:49	じゃ、ここってポイントではなくて、それぞれから出てきたものをまとめてやっているっていうそういうことで、よろしいですかね。おっしゃる通りでございます。はい、わかりました。ありがとうございます。
0:36:00	また、
0:36:01	医師からは以上ですけど他何かございますか。
0:36:13	あよ。
0:36:33	規制庁規制庁海田です私も今のところの、
0:36:37	このさっきの
0:36:39	OSLとも同じなんですけど、
0:36:42	これ
0:36:44	うん。
0:36:45	採用することにし、使用することになりましたという。
0:36:50	ことが3-2 に書いてあって、
0:36:53	これが
0:36:54	前の方のページでは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:56	これがまあ、そういうふうな位置付けに変更されてはいないんですけども、
0:37:01	それもさっきと同じで、
0:37:03	時間の関係上、コメント回答としてはここにあるけど、
0:37:10	この資料全体には、
0:37:11	反映してはいないと、そういう今、資料のつくりになってると。
0:37:16	そういうふうを考えといて、
0:37:18	よろしいんだ
0:37:22	はい。日本原子力発電野瀬でございます
0:37:24	その通りでございます
0:37:26	ここではまず、再掲。
0:37:28	しますというところだっけ。書いて他のちょっと整合しないでしょう。そういうところはまだ
0:37:33	でございます
0:37:35	海田ですわかりましたそういう資料構成ということで、承知しました。
0:39:03	を、
0:39:08	規制庁ノダですけど、
0:39:10	1点確認させてもらっていいですか 3-2 の、テフロン酸素Tephraのところなんですけど、
0:39:17	3-4 ページ、ここについては、2-17 ページのところ、試料採集地の話があって、
0:39:26	3-6 ですかね。3-6、このテフラ分析結果については最終値が、その前の 3-5 ページ
0:39:34	に当たると思うんですけど、これ、3-5 ページでさっきの例えば 2-17 ページですと、各測線である程度ピークが見えてたり、
0:39:45	メンテナかったりしたんですけど、この 3-5 ページは、これ、どこに、すいません角閃石が、
0:39:53	どこで確認されてるかがわかんないんでちょっとせ、追加で説明してもらっていいですか
0:39:57	はい。日本原燃牟田でございます。
0:39:59	おっしゃる通り、こっちの 3-5 ページの測線③の 1 から 3、こちらの方では、連続的にテフラ分析試料採取した測線では、普通角閃石は検出されておられません。
0:40:12	で、ご覧いただきたいのが側線③-1 と 03-2 の間にですね、赤い丸で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:21	最終スポットがございます。
0:40:24	こちらの方で、企画課シマ 3000 分の 0.1 と書いてありますけども、資料として二つ、Tephraえっと普通角閃石が検出されております。
0:40:37	こちらもですねこの 1 点だけ絞って採取したわけではなくて、こういった連続的な最終ではな
0:40:45	で、この低酸素の中で、Tephraが取れそうな、
0:40:51	細粒な浅見層から、いくつか最小としまして、唯一
0:41:00	角閃石が取れた場所を、この赤い丸で示しており
0:41:04	で、
0:41:06	ということで、3-6 ページですね、ハーカー図の方には、
0:41:10	とれた主成分結果として 2 点二つ部分の結果が現れて
0:41:16	いた。
0:41:22	規制庁ノダですけどご説明ありがとうございました。
0:41:25	なるほど。3-6 ページ、凡例のところにも原電道路ピット③、
0:41:30	上、
0:41:31	-D-5 って書いてある。
0:41:34	ところが、はい、資料のページで言う。
0:41:37	赤井。
0:41:38	丸に当たると
0:41:39	ということですか。はい、二本木出村です。おっしゃる通りでございます。ちょっと私、
0:41:45	先ほどの 2-17 ページをね、測線上でとってんのかなと勘違いしてたんで、はい、事実確認。
0:41:52	できました。
0:41:54	はい。とりあえず私から以上
0:42:02	そうですね。
0:42:09	はい。
0:42:24	若井規制庁海田ですね。
0:42:26	データ集の今回、グラフがついてきたっていうところ。
0:42:31	見みて、これ本当タダノ確認なんですけど最後の 5 ページ。
0:42:39	七つの資料から、
0:42:42	求めましたっていうのが書いてあるんですけど。
0:42:46	見ると 1235。
0:42:49	赤い線が書いてあるグラフは六戸なんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:52	ナゴってというのはコウんどれをもって、どんな子なのかっていうのは、そこだけちょっと。
0:42:58	教えてください
0:43:03	はい。日本原燃、日本原電の五十嵐です。7コウというこの
0:43:07	③層、6番目の資料以外の7個でして、この8番目の赤線がちょっと
0:43:12	飽和してるんですけどもちょっとプログラム上が赤線が表示できないんですけども、
0:43:17	この
0:43:18	過程軸のところ、3のちょっと上に四角い
0:43:24	プロットがあると思うんですよここが。
0:43:26	実はOSL信号強度の点でも、飽和してるラインにいます。
0:43:32	このグラフを各プログラム上ちょっと赤線が表示できないんですけども、
0:43:35	飽和してるんでこちらをは計算に含まれており、
0:43:42	以上です。規制庁甲斐です。これは、
0:43:45	飽和してるけど、
0:43:49	使えるデータということで、
0:43:51	何かこの7個の中に入って計算されていると、そういうことです
0:43:57	はい、おっしゃる通りで、
0:44:00	海田です。わかりましたそういうものだとということで一応、
0:44:04	今、
0:44:06	その点は確認しました。はい。
0:44:17	木戸イワサキです。他はよろしいですか。
0:44:35	規制庁野田ですけど。
0:44:37	技術的なところもいいということなんで、資料にちょっと形式的なところで、
0:44:43	ちょうど今、この
0:44:44	ヒアリングの前に、部長とも、資料、
0:44:49	で議論してきたんですけど、
0:44:51	1点お願いがあって、この資料は、
0:44:55	この形式で、
0:44:56	いいんですけど、
0:44:58	こっから
0:44:59	コメント回答だけ見てもらったものを、
0:45:03	例えばそっちを1-1

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:05	で、今日出してもらってこれを1度にとって、そういう形にってもらってもいいですか。あ、ごめんなさい。
0:45:12	市、
0:45:13	来週の審査会合資料と
0:45:15	これ、これでいかがでしょう
0:45:21	日本原子力発電の野瀬でございます。承知しました。
0:45:25	衛藤。
0:45:27	構成としては、
0:45:28	表紙があつて、と。
0:45:30	その乗ってるコメントリストだ形ですねこれでいうと、七、八、
0:45:38	2324 というリストをつけて、
0:45:41	という構成でよろしいですか。
0:45:47	規制庁野田ですけど、野瀬さんありがとうございます。そうですね。まず、これはもういじるの。
0:45:53	私はいじらないほうが良いと思っていて、
0:45:55	いますし、部長もそれでいいよと言っておったんで、まずこれはこのままにするじゃないですか。抜く方は、
0:46:02	そうですね、コメントだけと、コメントリストもそうですね今野瀬さんが言われた通り、実際に今回回答している。
0:46:11	ところだけ、
0:46:12	だから、
0:46:15	なのは、7、8、ごめんなさい、左側のナンバーで、
0:46:20	言うと、七、八
0:46:23	23、20
0:46:25	4、
0:46:27	32
0:46:29	ということですか
0:46:33	で、
0:46:34	ページ番号、
0:46:39	ページ番号、
0:46:52	そのまま抜粋しつつ、
0:46:54	抜粋は抜粋版で、別途当シバをつけます。
0:47:03	ペースはいじらないほうが良い。
0:47:06	もともとの判ページ番号残した方が良いと。
0:47:10	でもその枚数がないから別に大丈夫。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:16	それでイシカワですか、もしかしたら我々よりも紙資料づくりに長けてる、皆さん方が何か
0:47:24	あれば
0:47:25	通し番号入れる、入れない。
0:47:27	その他、
0:47:33	現年カミヤですけど、
0:47:35	単純な抜粋じゃなくて、やっぱりちょっと仕立て直したもののっていう。
0:47:40	ことになりますかねページを。
0:47:42	これ該当コメントリストのところに該当ページが、
0:47:46	一応書いてあるので、
0:47:48	書いてあるので、単純に抜粋ならそのままね。
0:47:51	この資料はそのまま2番目の資料として置いてあって、これの抜粋ってのが1-1の資料になると。
0:47:59	単純に必要なところだけページは抜粋して
0:48:02	ので、
0:48:03	この
0:48:04	該当ページっていうところもいじらずに、
0:48:07	ただ
0:48:08	すごい飛び方でページは入って
0:48:10	なりますけど、
0:48:18	規制庁ノダですカミヤさんありがとうございます。そうしますかねあとは、
0:48:24	説明のしやすさだったり、その後のやりとりの時に、
0:48:29	煩雑。
0:48:30	だったり、
0:48:33	お互いに混乱が生じなければいいと思ってるんですけど、そんなページ数も多くないので、
0:48:39	私は大丈夫じゃないかと。
0:48:43	そういった形で、すいませんお手数をおかけするんです。
0:48:49	もし、もし何か
0:48:54	作業されてる中で、
0:48:56	何か、
0:48:56	あれば、
0:48:58	506、
0:48:59	はい。
0:49:08	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:10	原子力規制庁イワサキです。
0:49:13	よろしいですかね。
0:49:15	はい。
0:49:23	どうぞ。
0:49:27	元のカミヤですけどちょっと、
0:49:29	面談に行く前にちょっとヒアリングに関わるということ、
0:49:33	ちょっと事務局からすでに連絡行ってるかもしれませんが、先週面談させラップの面談させていただいて、今週月曜日に、その修正版のコメント、
0:49:44	リストだけを提出させていただいて、
0:49:47	今日の
0:49:49	4 ページの
0:49:50	No.1202-9、
0:49:54	1202-9、
0:49:57	これを、
0:49:59	次回審査会御説明予定ということで今週の月曜日に出したものにはしてたんですけど、
0:50:04	ちょっと社内の議論で、
0:50:06	この資料上だから、時事、
0:50:08	次回以降のっていうふうに、
0:50:10	させていただいています。
0:50:17	ちょっと他のテフラが真奈美のやつとまとめて回答させていただいて、
0:50:35	それでね、その1ヶ所だけ
0:50:39	それが1、
0:50:40	検討。
0:50:41	もう1、
0:50:45	あの通帳、
0:50:47	9月の審査会合を11月の10日の施策でございます説明スケジュールという資料を
0:50:55	11月10日に向けての時もちょっと後追いで、
0:50:59	提出させていただいて
0:51:02	結果的にそういう形になっ
0:51:07	コウは、
0:51:09	かかって

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:13	ごめんなさいね、前回の時もちょっとヒアリングとかの時には、出ていなくて後でちょっと事務局長制の中でこれ必要やっぱり必要だからっていうことで、後から
0:51:24	審査会合に向けて、
0:51:25	最終的に資料 1-2 になっ
0:51:27	たと思うんですけど、
0:51:38	わかり説明資料とは別に、後でスケジュール資料、
0:51:45	出したんですけどっていうことですよ。ここで、前回はいはい。
0:51:51	今回もちょっとそういう減カミヤですけど、今回もちょっとそういう今そういう状況。
0:51:56	審査会合用資料として今、我々としてお出ししていないので、
0:52:01	審査会合時には、こ今言ったやつと、スケジュール表がくっついてきますそういうことですか。
0:52:20	今、資料 1-2 をご覧いただいています。
0:52:25	んじゃないですか。市野ニッタ金光さん。
0:52:42	規制庁ノダですけど、すいません私今、一つ目のことをちょっと試行してたんで、
0:52:47	考えてたんで、ちょっと二つ目の方がよく、
0:52:51	趣旨が
0:52:52	理解できなかったんですけど、要するに、
0:52:54	今岩崎が言った通り、
0:52:57	審査会合に向けては、前回、11 月 10 日の
0:53:02	審査会合での資料 1-3 の、
0:53:06	アップデート版を用意し、
0:53:09	することを考えていますってそういうことですか
0:53:13	原電の神谷ですけどもこれまでの対応からするとそれこそ用意する必要はあるんだろうなと思ってるんですけども。
0:53:29	ただ、市長安井アノ。
0:53:32	特にす。説明スケジュールについてご説明する。
0:53:38	なんていうか、短短期間のスパンなので特に説明しないっていう、僕、なんかそういう仕切りなんであれば別に
0:53:49	スケジュールは、
0:53:50	長くてもいいですよ。
0:53:54	藤。
0:53:55	じゃああつたら、あつて進捗的に

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:00	更新しましたって説明をしていただけるんだったら、
0:54:04	スケジュール表がないと駄目だと思うんですけど。
0:54:10	事業者としてスケジュールって、再度ご説明するつもりだったんです
0:54:16	そうそうであればスケジュール表をつけていただきたいんですけど、原電の神です。ちょっと今日午前中事務局とちょっとその話をしている、
0:54:24	今のコメントリストでも、
0:54:26	今のコメントリストと、次回以降で書いて、
0:54:30	これだから月曜日に出す資料では、次回以降というふうに、
0:54:34	直してお出しすることになる。
0:54:36	ですね。
0:54:38	12月8日時点では、先ほどの五つを説明するので、それ以外については、次回以降の審査会合で説明。
0:54:48	するという形に
0:54:49	これは形式的な修正を
0:54:51	月曜日までにはしないといけないと思ってるんですよ。
0:54:55	その時に、今12月1415の現地調査までは、
0:55:02	具体的なスケジュールが見えているんですけど、
0:55:04	つまり、自治会、
0:55:07	この資料で言うと自治会移行っていうところを事業者としていつごろ資料を提出して、
0:55:11	いつごろこの審査会合っていうのを事業者として今想定してるかっていうのが、
0:55:17	これ、他社の他社の例をすると、通常そういう資料が、
0:55:21	出ているのではないかと考えていて、あくまで事業者の想定ですけど、
0:55:32	規制庁、野田ですけど。
0:55:34	高見さんご説明ありがとうございます。
0:55:35	だから用意してもらえば良い。
0:55:38	してもらおう。
0:55:39	留意するんですよ。
0:55:42	スケジュール
0:55:44	説明するかしないかはその内容次第だと思いますね。
0:55:49	さっきの話じゃないですか、実績を。
0:55:51	医師、黒黒塗りに
0:55:53	しましたって別にそんなの説明必要ないと
0:55:56	ええ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:57	他方で、もうちょっと、
0:56:00	本社としての
0:56:01	年明け以降ですね今 12 月までしかないんだ
0:56:04	年明け以降のところでは何か
0:56:09	御社が今想定されているスケジュールを
0:56:11	入れられ、
0:56:13	上で、
0:56:15	入れられ、
0:56:15	入れられ、かつ、
0:56:17	それについて何か、我々としても、
0:56:22	審査会合公開の審査会の向こうの場で、
0:56:26	確認すべきことがあれば、それは確認しますし、それに説明が必要であれば、説明を、
0:56:33	してもらおうと思うんで、だから、まずものは用意し、
0:56:38	説明が必要かどうかちょっと内容みないとわかんない
0:56:43	はい、原電の神谷です。社内で、
0:56:46	検討したいと思いますけど、おそらくだからとりあえず 3 月ぐらいまでの、
0:56:52	今日の軸はふやしてみたいな
0:56:56	と思う。
0:56:58	もちろん現地調査でつくコメントとかもあるんで、
0:57:02	すべてのことまでを
0:57:04	想定しきれないので、
0:57:06	次回以降と、次回以降と、
0:57:09	12 月 8 日時点で次回以降と次回以降というところ
0:57:12	出てくんです
0:57:13	院長さんのコメントって全く見えない。
0:57:16	今日の 30
0:57:17	2 ぐらいを考えたときに、
0:57:20	まず想定想定をですね、
0:57:29	規制庁ノダですけど、はい神谷さんありがとうございます。私もそういうことだと理解しましたんで、
0:57:39	そしたら、全体整理すると。
0:57:42	三種類。
0:57:43	1-1 がコメント回答の抜粋。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:47	1-2 が、
0:57:48	この日
0:57:49	市野さんが、前回と同様ですけど、スケジュール
0:57:54	いう。
0:57:55	構成で、
0:57:57	データ集がある。
0:57:58	そうっすねごめんなさい
0:57:59	私一緒に撮影
0:58:02	データ集、ごめんなさい、データ集が1の、
0:58:05	3、
0:58:06	スケジュールが1
0:58:09	どうですか。現在カミヤですけどデータ集は前回も一応机上配付資料としたので、机上配布資料として、
0:58:17	この補足説明資料3のデータ集だけを、
0:58:21	用意するっていう。
0:58:23	つもりで、
0:58:24	いいですかね。野瀬だね。
0:58:25	補足説明資料1と2はもう、
0:58:28	なしで、必要だったら前回審査会合
0:58:31	のリファすればいいの
0:58:36	はい。そういう資料構成
0:58:38	と思います
0:58:46	規制庁イワサキさい。
0:58:48	じゃ、よろしければ、
0:58:52	本日の確認事項の
0:58:56	確認に移りますので、画面に映します。
0:59:46	よろしいですかね。
0:59:52	もう1点目は
0:59:53	全般的に申し上げたことなんすけどコメント回答の説明と、本ページの資料は整合してないことというのもお伝えいたしました。
1:00:03	2点目ですけども、
1:00:05	書いて欲しいの。
1:00:07	次回以降野瀬は、新社会御説明。
1:00:11	の項目っていうのは現地調査までには説明し、資料が用意されるとの趣旨でよいか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:17	そういう趣旨でいいということで、
1:00:20	ご確認させていただきました。
1:00:28	三つ目ですけれども、OSLの年代測定結果なんですけれども、
1:00:34	どの
1:00:36	133
1:00:37	200、ごめんなさい 13.3±休憩。
1:00:41	李古井じゃなくて、
1:00:42	誤差は考慮せずに、
1:00:45	103、13.3 万年より
1:00:49	古いと評価する。
1:00:53	給与は
1:00:58	13 です。
1:01:00	はい。
1:01:03	ではなくて、
1:01:04	評価として 13.3 万年前より古いと。
1:01:08	評価を変えるという事はイトウであるということを確認しました。
1:01:16	よろしいですかね。
1:01:47	はい。
1:01:50	次はですね。
1:01:52	ええ。
1:01:54	2-54 ページですね北西法面におけるK断層の変位量の記載。
1:01:58	を変更した趣旨を確認したシマダ全体に関わることが出てくると。
1:02:04	原電の神谷ですけど、変位量の記載が変更したちゅうよりは、
1:02:09	営業の
1:02:11	うん、考え方とか、
1:02:13	3、
1:02:14	D。
1:02:15	考え方と、
1:02:20	熱い金で、うん。
1:02:23	A行の
1:02:25	算出。
1:02:26	うん。
1:03:13	はい次ですけれども、
1:03:24	と、
1:03:25	③ソウノテフラ分析のところの、③層中の普通角閃石っていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:30	3層中のどこで採取された試料であるかを確認させていただきました。
1:03:37	はい。
1:03:49	次も同じような趣旨です。
1:03:54	原電道路ピット③上、
1:03:57	ーT5、
1:03:58	についてはどこで採取された資料であるかを確認したと。
1:04:20	はい。
1:04:21	最後はちょっとこれは補足の、鍛冶さんがお聞きした、7個の資料と記載されてるんですけども、グラフの赤い線が6個しかないのはなぜですか。その理由を確認しました。
1:04:35	よろしいですかね。
1:04:48	はい。
1:04:57	規制庁イワサキですはい。
1:04:59	それではヒアリング
1:05:03	原因じゃない、
1:05:05	敦賀発電所2号炉の家断層活動性に関するヒアリングを終了したいと思いますありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。